

かがやけ



# 五小っ子

いのち

第39号 令和5年 1月30日

文責：第五小学校 校長 野中 邦明

いつでも どこでも だれにでも

笑顔で挨拶 自分から

安中大好き!

生命を大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成  
～ すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい ～

先週は10年(?)に一度の大寒波に見舞われましたが、保護者の皆様には大きな被害など無かったでしょうか? 幸い、雪は降りませんでした。極寒となり、普段は元気いっぱいの子どもたちも少しだけ背中が丸まっていたようです。25日の早朝、普段は室内に置いている簡易温度計を屋外に出していたところ、AM6時には『-7.7℃』でした。大寒は過ぎたので、これから”三寒四温”により、少しずつ気温が上がっていくことでしょう。とはいえ、引き続き子どもたちの体調管理について、留意いただくようお願いします。

## 全国学校給食週間 1月24日～30日

### 【学校給食の歴史】

日本での学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町の小学校で始まりました。その後、全国に広まり実施されるようになりましたが、戦争による食料不足により中止せざるを得なくなりました。やがて戦争が終わり、昭和21年12月24日に東京、神奈川、千葉の3都県の学校で試験給食が実施されました。それ以来、12月24日を学校給食感謝の日と定めていましたが、冬休みと重なるため、1月24日から30日までの1週間が「全国学校給食週間」となりました。

第五小学校においても、3回目の『まんぷく運動』(残さず食べよう!の取組)を1月30日からの2週間実施し、給食委員会が残食調べをしていきます。また「給食集会」(26日開催)では、1年生と4年生からの手紙発表や、日ごろから給食でお世話になってる方々へのプレゼント渡し、給食委員会による「給食アンケート報告」などが行われました。期間中は長崎県の地場産品を使った料理(「ブリのおろしだれ」「米粉パン」「うらかみそばろ」)や郷土料理(「具雑煮」「ろくべえ」「ちゃんぼん」「チェリー豆」)、昔の献立(「オーロラくじら」)も実施されました。とても美味しくいただきました。



給食集会 より

### 【節分まめ知識】

今年の節分は2月3日(金)

日本には、立春・立夏・立秋・立冬などが代表するような季節を表す二十四節季と呼ばれる、古くから親しまれてきた季節感があります。春夏秋冬の季節の変わり目は重要な日とされており、季節の変わる最終日をすべて『節分』と呼びます。実は、一年間に節分の日には4回あるのですが、一年の始まりである立春(旧暦のお正月)を迎える前日に、清め新しい年を迎えるための儀式として『節分』の行事を行うようになりました。最近の節分は「豆まき」以上に『恵方巻』を食べるとするのが有名で親しみやすいものとして広がっていきまようです。

そこで、今年の恵方巻の食べ方を調べてみました。すると……

1. 恵方を向いて食べる → 今年、「(南南東のやや南)」らしい!
2. 恵方巻は黙って食べる → そうしないとご利益が得られない!
3. 恵方巻は一気に食べる → 切らずに一本丸ごと食べることで、縁が切れない、運を逃がさない。

なかなか難しそうです。そう簡単に”ご利益”を得ることはできないのかもしれませんがね。



Enjoy (楽しむ)

→ 面倒だと感じることも、その中に楽しみを見つけ、やりぬく力を育てよう。

Think (考える)

→ これでもいいのかを常に考えて行動する力を育てよう。



Challenge (挑戦する)

→ もう少しがんばればできそうなめあて(目標)を決め、努力する力を身につけよう。

令和4年度

島原市立第五小学校